第25号様式（第15条関係）

育　児　休　業　承　認　請　求　書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年 月 日  鹿児島県教育委員会教育長 殿  　　　　　学校名  　　　　　職・氏名  　 　　（職員番号 ）  次のとおり育児休業（期間の延長）の承認を請求します。 | | | |
| １　請求に係る子 | フリガナ |  | |
| 氏　　名 |  | |
| 続 柄 等 |  | |
| 生年月日 | 年　　　月　　　日生 | |
| ２ 請求の内容 | □ 育児休業の承認（次に掲げる育児休業の承認を除く。）  □ 同一の子に係る３回目以後の育児休業の承認（既に２回の育児休業（育児休業法第２条第１項各号に掲げる育児休業を除く。）を取得した場合のものに限る。）  □　育児休業の期間の最初の延長  □　育児休業の期間の再度の延長  （同一の子に係る３回目以後の育児休業の承認（既に２回の育児休業（育児休業法第２条第１項各号に掲げる育児休業を除く。）を取得した場合のものに限る。），育児休業の期間の再度の延長，非常勤職員の１歳６か月までの子の育児休業の承認又は非常勤職員の２歳までの子の育児休業の承認が必要な事情を記入すること。） | | |
|  | | |
|  | | |
|  | | |
| ３ 請求期間 | 年　　月　　日から　　　年　　月　　日まで（　　日間） | | |
| ４ 既に育児休業    　　をした期間 | 年　　月　　日から　　　年　　月　　日まで（　　日間） | | |
| 年　　月　　日から　　　年　　月　　日まで（　　日間） | | |
| 年　　月　　日から　　　年　　月　　日まで（　　日間） | | |
| 年　　月　　日から　　　年　　月　　日まで（　　日間） | | |
| ５　配偶者（注４に規定する場合に記入） | 氏名 | |  |
| 育児休業の期間 | | 年 月 日から　　　年 月 日まで |
| ６　産前・産後  　　休暇の  　　期間 | 年　　月　　日から　　　年　　月　　日まで（　　日間） | | |
| 年　　月　　日から　　　年　　月　　日まで（　　日間） | | |
| ７ 校長意見 | 学校長 | | |
| ８ 備 考 |  | | |

注　１　請求に係る子についての初めての育児休業の承認請求である場合は，当該請求に係る子の氏名，請求者との続柄等（請求に係る子が常勤職員規則第７条の４第１項第４号又は非常勤職員規程第12条第１項第４号に規定する特別養子縁組の成立前の監護対象者等に該当する場合においては，その事実。５において同じ。)及び生年月日を証明する書類又はその写しを添付すること。

２　「請求の内容」の欄の「１歳６か月までの子の育児休業」とは，育児休業条例第２条の３第３号に掲げる場合に該当してする育児休業をいい，「２歳までの子の育児休業」とは，育児休業条例第２条の４の規定に該当してする育児休業をいう（４において同じ。）。

３　子の出生前に請求する場合は，「請求期間」の欄は出産予定日以後の期間とし，「請求に係る子」の欄の記入及び証明書類の添付は，出生後，速やかに行うこと。

４　「配偶者」の欄は，非常勤職員が１歳２か月までの子の育児休業（育児休業条例第２条の３第２号に掲げる場合に該当してする育児休業をいう。)，１歳６か月までの子の育児休業又は２歳までの子の育児休業をしようとする場合に記入すること。

５　「備考」の欄には，請求に係る子以外に３歳に満たない子を養育する場合においてはその氏名，請求者との続柄等及び生年月日を，請求に係る子が養子の場合においては養子縁組の効力が生じた日を，請求に係る子以外の子について現に育児休業の承認を受けている場合においてはその旨並びに当該承認に係る子の氏名及び当該承認の請求に係る期間等を記入すること。

６　該当する□にはレ印を記入すること。